

いのち輝く22世紀のグラウンドデザインへ

科学者やエンジニアと共に事業構想する場をつくる
防災減災の国際連続ワークショップ

KOBE PEER WORKSHOP

MIRAI BOSAI

2021

3.26 FRI - 27 SAT

13:00-17:00

10:30-16:40

WEBサイトにて配信
視聴無料!

KOBE PEER

検索

<https://kobeppeerworkshop.jp>

 kobeppeerworkshop

2021年から2025年にかけて毎年開催するシンポジウムイベントの記念すべき第一回目!
ESG投資の潮流を踏まえ、災害に対して強靱な社会と経済を実現する為の、
未来に役立つワークショップをオンライン配信!

<https://kobeppeerworkshop.jp>



お問い合わせ
contact@kobeppeerworkshop.jp



公式WEBサイト



facebook

主催: 神戸大学高等研究院未来世紀都市学研究アライアンス
共催: PEERおよびPEER連携機関
協賛: 阪急電鉄株式会社、大阪ガス株式会社、
オムロンソーシアルソリューションズ株式会社
協力: JR西日本、株式会社サンテレビジョン、
株式会社バイオーム、株式会社ケルン、
シャープグループ 株式会社AIoTクラウド
後援: 日本経済新聞社



 大阪ガス  OMRON

Multidisciplinary
Integration for
Resilience
And
Innovation

MIRAI

未来の防災減災を異分野融合で実現する

2021年から2025年にかけて
毎年開催するシンポジウムイベントの
記念すべき第一回目！

2021年3月26、27日、神戸大学MIRAIアライアンスの主催で、災害に対して強靱(レジリエンス)な社会と経済を実現する為、毎年一回5年間、科学者やエンジニアとともに事業構想する場「防災減災の国際連続ワークショップ」を開催致します。

事前にお申込み頂くと
配信に関する案内メールを受け取れてスムーズ！

公式WEBサイト ▶ 申込みフォームに必要情報を入力 ▶ 送信

司会進行



藤岡 勇貴
ニュースキャスター
株式会社サンテレビジョン

3.26 FRI 13:00-17:00

講演1 講演 13:10-13:40 / 質疑 13:40-14:00

街の安全性評価と投資

～都市丸ごとのシミュレーション技術を用いた市場創成の可能性～

Speaker 飯塚 敦



地盤工学者
神戸大学高等研究院未来世紀都市学アライアンス長
神戸大学都市安全研究センター教授
都市丸ごとのシミュレーション技術研究組合代表理事

都市デジタルツインにより、その企業が晒される災害リスクが明らかとなる。そのリスクの低減がESG投資になる。ここに平時の経済活動が国土の強靱化につながる図式が見えてくる。すなわち、防災・減災が、公による受身の防御から民による投資対象となるのである。

講演2 講演 14:10-14:30 / 質疑 14:30-14:40

次世代の防災「見える化」、 自律的なレジリエントシステムの 実現を目指して

Speaker



中野 公太
オムロンソーシアルソリューションズ株式会社
グループリーダー

「想定外」の観測史上最大値を記録し続ける昨今の自然災害に、経験値のみの対策では被害を抑えることが難しくなっています。各地域が「想定外」を受け、自律的に判断・行動を起こして被害を最小化するレジリエントな仕組みづくりが社会的課題となっています。

講演3 講演 14:50-15:20 / 質疑 15:20-15:40

東北復興の10年を振り返る

～被災地商工者アンケートからのESGの学び～

Speaker



金子 由芳
法学者
神戸大学社会システムイノベーションセンター教授

ESG投資がキャピタルゲイン減税の正当化に終わらないためにも、環境社会配慮を行う企業の総合的価値を客観化する手法が待たれる。本報告では、東日本大震災10年の節目に被災地の商工団体の支援で実施した復興調査をもとに、逆境を乗り越え地域社会のため立ち上がる企業セクターの動向から示唆を引き出す。

座談会1 15:50-16:50

科学者やエンジニアとともに 事業構想する場をつくるために必要なこと

Panelist 飯塚氏(進行)、中野氏、金子氏、梶川氏(神戸大学・気候科学者)、北後氏(神戸大学・防災工学者)、他MIRAIアライアンスメンバー



梶川 義幸
気候科学者
神戸大学都市安全研究センター教授



北後 明彦
防災工学者
神戸大学都市安全研究センター教授

+他

MIRAIアライアンス定例会
「二水会」のスタイルで
開催する座談会

リアルタイム質問アプリ「slido」を使用した双方向トークセッション

前3つの講演を踏まえ、災害リスクの可視化技術(デジタルツイン)の可能性と課題について、気候科学者、防災工学者を交えて議論する。

座談会の見どころ

座談会1 座談会3 はMIRAIアライアンス定例会
「二水会」のスタイルで開催！

二水会とは

神戸大学未来世紀都市学研究ユニット(現MIRAIアライアンス)が発足した2016年から毎月第2水曜日に神戸大学のさまざまな学部の教授らが一堂に会し夜な夜な議論している会議がある。議論のテーマは防災に限らず多岐にわたり、カオスの様相を呈す。その二水会が、MIRAI BOSAIについてそのベールを脱ぐ。

3.27 SAT 10:30-11:55/13:00-16:40

座談会2 10:40-11:50

リアルタイム質問アプリ「slido」を使用した双方向トークセッション

先進企業に学ぶ！ SDGsを事業に 組み込む方法とは？

若手女性社会起業家でミスSDGsタレント、関学国際学部非常勤講師の山本宝が先進企業の等身大の取り組みを引き出す。

Guest



重田 大助
ソフトウェア・エンジニア
シャープグループ 株式会社AIoTクラウド
プラットフォーム開発部長



壺井 豪
オーナーシェフ +他
株式会社ケルン
代表取締役

聞き手



山本 宝
社会起業家
株式会社ROUGHLABO
代表取締役社長

講演4 講演 13:10-13:40 / 質疑 13:40-14:00

可視化技術が拓く人新世の自然と 人間の関係、市場価値の創出まで

世界の動植物約100万種が絶滅の危機にあり、生物多様性の保全とその実用的なモニタリング(可視化)手法の確立が喫緊の課題となっている。演者がこれまで取り組んできたスマートフォンアプリによる生物モニタリングの事業を紹介する。

Speaker 藤木 庄五郎



エコロジスト
株式会社バイオームCEO

講演5 講演 14:10-14:30 / 質疑 14:30-14:40

SDGs、ESGに対する 企業の取り組み紹介

2009年からグループ全体で進める社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」や、昨年5月に発表した「サステナビリティ宣言」など、当社グループの持続的な成長、ひいては持続可能な社会の実現に向けた取り組みをご紹介します。

Speaker



相良 有希子
阪急阪神ホールディングス
サステナビリティ推進部

座談会3 全体 14:50-16:30

経済活動と防災力向上を結びつけるために

トピック1 14:50-15:20

客観化手法(可視化技術)と市場創成に関して

Guest 藤木 庄五郎 エコロジスト
株式会社バイオームCEO

トピック3 16:00-16:30

コロナ対策の終わり方～通常の経済活動再開の判断をいかに行うか～

大路 剛 感染症内科医
神戸大学医学研究科准教授 感染症内科

MIRAIアライアンス定例会「二水会」のスタイルで開催する座談会
リアルタイム質問アプリ「slido」を使用した双方向トークセッション

Panelist MIRAIアライアンスメンバー 飯塚氏(進行)、大塚氏、大村氏、奥村氏、梶川氏、金子氏、上原氏、北後氏

トピック2 15:20-15:50

客観化手法(ESGのインデックス)と
実際の防災力に関して

Guest



小原 一泰
阪急電鉄株式会社 総務部
阪急阪神ホールディングス株式会社
サステナビリティ推進部



抱江 卓哉
阪急電鉄株式会社
都市交通事業本部
交通プロジェクト推進部

※各プログラム内容やゲストが変更になる場合があります。最新情報はWebサイトで確認をお願い致します。